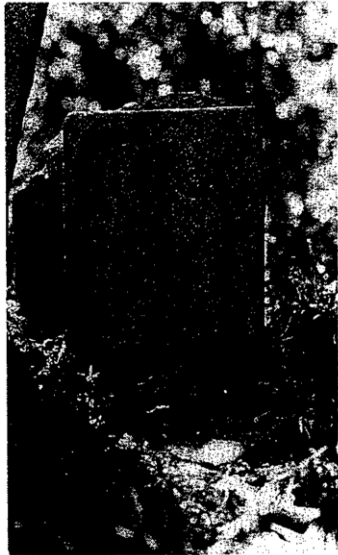


時の流れの生き証人



村に悪霊や外敵、病気などが入りこむのを防ぐために、まつられる神が道祖神で、「塞(さい)さえぎるの意」の神ともいわれた。多くは道路の辻、村境、峠などにつくられ、後世には、道路の神、旅の神

市内にも、龍間・龍光寺前、北条・教照寺内などに道祖神が見られる。

道 龍 祖 間 神

龍光寺前の道祖神は、木立に囲まれた高さ六十センチの石垣の中央に、高さ約三十センチ、横約二十五センチの石に二体の人物像が刻まれているが文字は見当たらない。我々の祖先が残してくれた貴重な石造物は市内にたくさんあるが、道祖神ほど当時の人々の心をついてつくられた石の文化財はほかにはないであろう。

